

今後の委員会 の進め方について

淀川水系流域委員会
第66回委員会

河川整備計画原案審議にむけて

- 原案に関する河川管理者の説明に対して質問・回答がなされてきたが、未回答を含めて多岐にわたり疑問点が残っている。
- これまでの説明や質疑応答内容について、委員や一般傍聴者から、よくわからないという声が出ている。
- 今後、わかりやすくかつ円滑に審議を進めるためには、委員、一般傍聴者および河川管理者の間において、多岐にわたる疑問点の系統だった整理と共有化が必要である。
- そのため今後、設定したテーマに沿って委員間で審議を行い、疑問点を整理しつつ、河川管理者から説明や回答を受ける審議スタイルを提案する。

今後の委員会の進め方

■ テーマを絞った河川整備計画原案の審議

治水、利水、河川環境、利用等原案に関わる多くの問題に関連し、社会的にも関心の高い以下の3ダムについてテーマを絞り審議する。

- ①大戸川ダム・天ヶ瀬ダム再開発事業
- ②川上ダム・上野遊水地
- ③丹生ダム

3

当面の審議方法

- 各テーマごとに、担当委員(2名程度)を選出。
- 担当委員がこれまでの河川管理者の説明・回答を踏まえて、理解した内容、疑問点を報告
- その報告を基に委員間で審議し、理解した内容の確認、疑問点の明確化・共有化を図る。
- なお、引き続き委員や一般傍聴者からの質問および河川管理者からの回答は継続して行う。

4